

8-3-6 持続可能な社会構築検討WG

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の開催

委員会開催回数：9回

(企画委員会と同一日に開催)

(2) 委員会の活動経緯

当WG発足以来、建設コンサルタントの企業価値向上や長期的なリスクを踏まえた安定経営のためのビジネスの切り口からSDGsに関する活動を実施し、業界内外に向けた、“SDGsに関する提言”の発信、リーフレットの作成、SDGsプラットフォーム（地方創生SDGs官民連携プラットフォーム）への登録などを行った。

(3) 委員会の活動内容

「地球上の誰一人として取り残さない」を理念とするSDGs達成に取り組む上で、ジェンダー平等は他の全ての目標と不可分の関係である。現在は、性別に起因するジェンダーからDE&I（ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン）に概念が広がっている。将来的な人口減少による人材不足というリスクに対応し持続的な企業経営を達成するため、DE&I（中でも女性活躍推進）の必要性、課題、取り組みなどに関する検討を実施している。

a) ロールモデルインタビューの発信

女性活躍が進まない課題の一つとしてロールモデルの不在が認識されたことから、建設コンサルタントに勤務する女性職員を対象にインタビューを令和6年度に実施した。

対象者は広域コンサルタント3名、地域コンサルタント2名の20～40歳代の方とし、これまでのキャリアや仕事の価値観、働き方、女性活躍への意識などを聞き取った。令和7年度ではインタビューの記事について取りまとめ、当協会ホームページの「パンフレット・動画コーナー」に掲載した。

b) 女性活躍推進の提案報告書作成

令和6年度に当協会会員企業と会員企業に勤務する職員を対象としたアンケートを実施し、134社、2,079名から回答があった。

令和7年度では、このアンケート結果を踏まえ、「建設コンサルタントにおける女性活躍推進の提案報告書」を作成した。本報告書は、建設コンサルタント業界における女性活躍推進の現状と課題を深く掘り下げ、その解決に向けた具体的な提言を行うことを目的としたものである。

現状、女性技術者は増加傾向にあるものの、管理職登用や定着に課題があり、家庭責任の偏り、柔軟な働き方不足、アンコンシャス・バイアス、長時間労働が阻害要因となっている。これらの課題は相互に関連しており、企業経営の好循環を阻害している。本報告書では、採用環境改善、制度・運用充実、職場文化改革、外部制度活用を提言し、経営戦略と連動した実行により、業界の競争力強化と持続的成長、豊かな業界実現を目指すものである。

c) 建設コンサルタント白書での発信

建設コンサルタント白書ではSDGsへの取り組みについて発信している。令和7年度版では、DE&I並びに女性活躍の必要性を発信した。令和8年度版では、上記報告書を踏まえ、女性活躍の現状と課題、女性活躍推進のための施策、企業経営における女性活躍の好循環について発信する。

2. 次年度の活動について

SDGsは2030年が目標年であるが、SDGsの取組をさらに深化させ、持続的な企業価値向上と社会貢献を目指す、SWGs（Sustainable Well-being Goals）に関する検討を予定している。

(持続可能な社会構築検討WG WG長

山本 誠二)